

ここが聞きたい



# 地区防災会に消防団OBの力を

## 組織化にむけ体制づくり検討



羽根 潤保博 議員

識・経験を地区防災会の強化に生かす組織づくりはできないか。

**安全参事** (1) 今年度、安全対策推進会議を設けた。

11月に実践災害対応訓練を実施し、地区の防災リーダーの育成に努める。

(2) 地域の資機材や備蓄品防災・安全点検、避難所の運営、要支援者などのマニュアルが必要である。作成にむけ消防本部と連携し早急に検討をすすめる。

**消防長** (3) 万々に備え、消防団OBなどのエキスパートの指導、協力体制が必要である。自主防災会の一員として、組織化の体制づくりを検討したい。

(1) 町当局の強力な指導体制が必要ではないか。  
 (2) 大地震発生などを想定したマニュアルの作成や役割分担表の見直しが必要ではないか。  
 (3) 消防団OBの貴重な知識・経験を地区防災会の強化に生かす組織づくりはできないか。

**個人情報  
漏洩の安全  
対策を**

**問** 本町が収集・蓄積している住民の個人情報は、極めて膨大なものといえるので、個人情報漏洩の防止対策を中心に、コンピュータ・セキュリティの現状と問題認識を問う。

- (1) 国当局の指導と本町の対応状況は。
- (2) コンピュータ・セキュリティ推進の責任部署と責任者および推進マニュアルの整備状況は。
- (3) 本体コンピュータの対策やLANのアクセス管理の問題は。
- (4) 情報処理を外注する場合の対策は万全か。



訓練中の地区防災会

**セキュリティ  
対策で情報  
管理**

助役、総務部企画情報課が担当し、コンピュータ・セキュリティを推進している。

- 総務部長** (1) 総務省経済産業省の情報セキュリティに関する指導に基づき、幸田町情報セキュリティポリシーを策定し適正な管理をしている。
- (2) 最高情報統括責任者を
- (3) ファイアウォールを設置し、不正アクセスの監視、ウイルス対策、各パソコンの操作制限をかけている。
- (4) 秘密保持の条項を明文化し、覚書や誓約書の提出で、施錠したケースを直接手渡している。

# 町づくりの 考えは?



鈴木三津男 議員

# 観光にどう生かす花いっぱい運動

## 四季を感じる散策コースづくり

**問** 平成16年度から7年度計画で進めている「花いっぱい運動」は町民に強い感動と関心を与えている。幸田の観光は「しだれ桜まつり」などのように、町民が永く継続してつくるものとする。中間年度にあたり次のことを問う。

- (1) 花街道づくりの今後の方針は。
- (2) 観光事業にどのように生かしていくか。
- (3) 観光案内所の設置とパンフレットの充実を。
- (4) 永く継続的活動をしていくために、「花いっぱい連絡協議会」の設立を。



きれいに咲いた芝桜

**建設部長** (1) 平成19年度から、農地・水環境保全向上対策を全町で取り組み、植栽活動を広げる。

- (2) 大井池や不動ヶ池周辺の環境整備、ため池や道路などに、四季が感じられる散策コースづくりをすすめる、運動に取り組む。
- (3) 観光に結び取り組み、幸田町をPRできるようにすすめていく。
- (4) 広域的な活動を持続させるためには、地域間の連携は欠くことができない。協議会の設置を検討していきたい。

**建設部長** (1) 道路の新設

地域要望で  
順次整備を  
すすめる

**問** 市街化制度が導入されて35年が過ぎた現在、既成市街化区域内の再整備も重要な施策と考える。安全性、福祉環境の改善、消防・防災・防犯の観点から、既成市街化区域内の「住環境整備」を早急に、計画的に行うべきである。

- (1) 区画整理事業に代わる道路整備などの事業手法はないか。
- (2) 公園の整備・管理の徹底を。
- (3) 一般河川の浚渫工事を。
- (4) 道路にはみ出している住宅垣根整備の管理指導を。
- (5) 未利用地、低利用地の開発は。

既成市街化  
区域内の  
環境整備を

**建設部長** (3) 草刈りと浚渫工事で1500万円予算化し実態に応じて実施する。

- (4) 通行の安全を図るため所有者が管理するのが原則である。広報などで理解を求めていく。
- (5) 第5次総合計画で、市街化の再生をあげている地域で意見交換の場づくりを検討する。

**福祉部長** (2) 住民広場は12カ所、ちびっ子広場は54カ所あり、日常の維持管理は地元をお願いしている。

改良事業で取り組んでいる。地域、関係地権者の合意に基づく地区計画による事業手法もある。



整備がまれる市街地



# 未成年者の健康増進対策を

## 健康幸田21計画をさらに推進



水野千代子 議員

**問**

未成年者の喫煙は年々低年齢化しており、身体の不健全な子どもへの健康被害は深刻な問題である。

- 平成15年「健康増進法」平成17年「たばこ規制枠組み条約」の発効を期に、国は子どもたちを、たばこの害から守る取り組みを進めている。喫煙と健康に関する知識を提供し、よい生活習慣と健康で丈夫な身体をつくるために、以下を問う。
- (1) 小学低学年から喫煙防止教育を。
  - (2) 未成年者の禁煙治療の支援を。
  - (3) 公共施設、小・中学校の受動喫煙防止を。

**福祉部長**

未成年者の健康増進対策、主に喫煙防止などは、健康増進法や健康日本21計画を踏まえて、本町も健康幸田21計画を策定

しており、母子手帳の交付パパ・ママ教室の開催時などには、喫煙や受動喫煙の健康への影響を指導し、禁煙相談にも対応している。

**教育長**

(1) 低年齢からの喫煙の健康被害を知覚に訴えるなど、啓発していく。

**福祉部長**

(2) 禁煙治療の支援は、近隣市町には事例がない。

(3) 公共施設の23力所が受動喫煙防止対策施設であり、学校では、児童に影響のないよう配慮する。

### 郷土資料館建設と文化財活用を

**問**

本町には、全国でも25



手狭となった郷土資料館

例ほどしかない「金銅製帯金具」また「子持ち壺」など、貴重な文化財がある。考古学は人類の活動の変化、生活の営み、歴史的事実を知るために文献以外の手段として非常に重要であるが、展示コーナーが狭いため十

分な展示、説明がされていない。バリアフリーなどもない。資料館の建設を。案内板の設置とともに、資料館を中心に、文化財を活用した特別展、ひな人形展示、体験づくりなどのイベント企画を提案する。

### 文化財の活用・保存に努める

**教育部長**

資料館が非常に手狭であり、収蔵品の展示資料や出土品などの整理が十分には行えない状況にある。展示・収蔵品の保護対策は、紫外線による劣化防止のための紫外線遮断フィルムの貼付などを行っている。現時点では、バリアフリー化や新資料館の具体的な建設計画は持っていない。

資料館を中心とした活動は、移動郷土資料館と称して、図書館ギャラリーで文化振興展を開催したり、さくら会館で歴史講座などを開催している。

**町長**

郷土資料館は建設に向け、さらに努力する。



丸山千代子 議員

# 保育所民営化検討の経過報告を 民営化ありきの検討会ではない

**問** 構造改革路線で、公務員削減のしわ寄せが福祉の分野にも押しよせ、公立保育所の民営化がすすめられている。  
民営化を議論するなかで凍結したり、白紙撤回する事例もある。

横浜市では、保育園民営化が、児童の健全育成を義務づけた児童福祉法など違反していると判決がでた。  
幸田町でも、「これからの保育所のあり方を考える」と、民営化検討委員会が5回開かれた。経過を問う。

**福祉部長** 平成18年1月以降、5回の検討委員会を開催した。

委員の構成は、保育園の園長・母の会、幼稚園関係者、子育てサークルのいずれも代表者と学識経験者の11名である。

当初、保育園の民営化という問題提起で始められたが、「民営化が前提か」の議論もあり、民営化を前提とするものではなく、民営化の諸問題を検討するものと

して進められている。  
委員会による民間保育所の視察も予定されている。  
**町長** 民営化ありきではなく、官から民へ、行政がどこまで役割分担を果たすべきかを考えたい。

安心して子育てできる町づくり

**問** 女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率が1・25になり、過去最低を更新し、少子化に歯止めがかからない。

安心して子どもを産み育てられる町づくりとして、安全な妊娠・出産への支援の具体化を問う。

(1) 妊婦無料検診の回数拡大を。

(2) 父親の育児参加のきっかけ作りとして父子手帳の発行と、幸田町独自の母子健康手帳に改善を。  
(3) 出産祝い金制度の創設を。

ファミリーサポートで支援

**福祉部長** 少子化・子育て支援対策の事業としては、当面は、子育て支援センターの充実やファミリーサポートセンターの創設で支援していく。

(1) 現在、妊娠中の前期・後期2回の無料検診であ

るが、受診率も非常に高いので、近隣市町の状況をみながら検討したい。  
(2) 父子手帳は、県下12市町村で発行しており、対応を考えたい。母子手帳は、本町独自の内容を検討したい。

(3) 岡崎市など、3人目以降の出産に祝い金20万円を支給する事例もあるが、もう少し近隣の状況をみながら対応したい。



健診を受ける元気な子

# 特産品の絵柄を強化磁器食器に

## 絵柄は実施 磁器食器は検討



伊藤宗次 議員

**問** 移転改築が計画される給食センターで提案

センターで働く調理員、栄養士が中心になって、働く者がつくるセンターに、食器は、犬喰いさせるランチ皿を廃止し、強化磁器に変更し特産品の筆柿、イチゴ、ナス、シイタケ等の絵柄を描き、食育教育の環にと提案。

食器の縁のカケ防止で縁を厚くすることを提案する。調理場を一周して、見て学べる食育（見学者）コースの設置を。給食配送車にも楽しい絵柄を。食材等購入物品の入札結果の公表を。

**教育部長** 新しい給食センターは働きやすい施設とするため、平成14年度から

栄養士とともに近隣市町の

施設を視察している。

食器は安全面、強度、重量、利用効率などを考慮し、食器選定委員会で検討中。強化磁器の採用は重量が問題となるため、早急に結論を出したい。見学者コース

の設置は検討したい。

町の特産品の絵柄は遊び心もあり、実現の方向で考える。配送車にも楽しい絵柄を検討したい。入札結果の公表は町の方



移転改築がまたれる給食センター

二重課税の都市計画税は廃止を

**問** 都市計画税は、あいまいな線引で、市街地の都市的基盤整備の目的税。

土地評価額は、売買実例で決められるが、売る意思のない所有者にも売買したらの評価額で課税する。生存権的所有でなく財産的課税である。固定資産税と同一の課税標準で課税する都市計画税は矛盾が多すぎ、固定資産の二重課税である。下水道整備では、別に受益者負担金が課税されるは、二重三重の土地所有課税だ。廃止すべきだ。廃止による代替財源は、大企業への適正課税でまかなえる。

廃止の考えはない

**町長** 都市計画税は税として認められた制度である。

幸田町将来の生活基盤、産業基盤の保障となると考え、今後も市街化地域の整備促進に努めていく。**総務部長** 都市計画税は直接的な受益の有無にかかわらず、資産全体に毎年賦課される。下水道整備では受益者に受益の一部を、一度限りの負担で、この両者は同じものではない。都市計画税は平成16年度約2億7000万円あり、廃止すると、将来の財源バランスが崩れることから、現状では廃止する考えはない。代替案は今後考えていく。



# 委員会構成決まる

5月9日に臨時会が開催され、  
3常任委員会と特別委員会など構成替えとなりました。

議長 大須賀 好 夫

副議長 笹 野 康 男

監査委員 山 口 文 雄

## 総務常任委員会

委員 長 羽根 淵 保 博  
副委員 長 村 越 茂 之  
山 口 文 雄  
清 水 正 幸  
杉 浦 務 次  
伊 藤 宗 一  
夏 目 一 成

## 産業建設常任委員会

委員 長 鈴 木 博 司  
副委員 長 鈴 木 三津男  
笹 野 康 男  
丸 山 千代子  
成 瀬 克 己  
内 田 等 雄  
内 藤 茂 雄

## 文教福祉常任委員会

委員 長 長 谷 奥 弘  
副委員 長 足 立 嘉 一  
草 次 孝 勉  
山 本 柳 治  
黒 鈴 木 廣 一  
水 野 千代子

## 議会運営委員会

委員 長 内 田 等  
副委員 長 杉 浦 務  
草 次 孝 一  
清 水 正 幸  
伊 藤 宗 次  
鈴 木 修 一  
鈴 木 博 司  
鈴 木 三津男

## 総合開発特別委員会

委員 長 黒 柳 広 治  
副委員 長 水 野 千代子  
成 瀬 次 己  
草 山 孝 一  
山 伊 藤 文 宗  
夏 長 目 一  
足 村 谷 立 弘  
鈴 木 越 茂 之  
三津男

## 議会広報特別委員会

委員 長 笹 野 康 男  
副委員 長 鈴 木 三津男  
丸 山 千代子  
羽根 淵 保 博  
足 立 嘉 之  
村 越 茂 之  
水 野 千代子

## 岡崎額田地区 広域事務組合議会議員

大須賀 好 夫  
笹 野 康 男  
鈴 木 博 司  
鈴 木 三津男

## 岡崎市額田郡 模範造林組合議会議員

大須賀 好 夫  
笹 野 康 男

## 蒲郡市幸田町 衛生組合議会議員

大須賀 好 夫  
笹 野 康 男  
長 谷 立 越 茂 弘  
足 村 越 茂 之

## 臨時会

第2回 4月11日

幸田町消防団員等公務災害補償条例の一部改正  
補償基礎額の引き下げ  
(反対2、賛成19で可決)

幸田町非常勤消防団員に係る退職補償金の支給に関する条例の一部改正  
10年以上の退職報償金の引き上げ  
(全員賛成で可決)

幸田町国民健康保険税条例の一部改正  
公的年金控除の廃止など  
(反対2、賛成19で可決)

第3回 5月9日

幸田町手数料徴収条例の一部改正  
ディスプレイス使用料を日単位から月単位に  
(反対2、賛成19で可決)

工事の請負契約  
荻谷小学校校舎増築工事

工事の概要  
鉄筋コンクリート造3階建

請負契約金額1億4175万円  
請負契約者

和幸建設株式会社  
(全員賛成で可決)

# 委員会レポート

総務

## 安全対策事業の 更なる推進を



消防署通信室で常時監視

## 産業建設

### 岡崎バイパス 平成19年3月開通予定

・5月25日協議会開催

安全対策事業の項目別行動計画、平成17年度会計決算見込および、防災遠視カメラシステムの設置が主な議題でした。

**Q** 駐車違反の取締りが強化されるが介護訪問などの公用車に駐車許可は受けられないか。  
**A** 現在、交付手続きの詳細は、把握していないが対応に努めたい。

**Q** 交通事故多発箇所等への対策は。  
**A** 国道23号・248号の施設や表示を点検し、前照灯の早め点灯などを指導・徹底したい。

**Q** 交通災害共済組合の解散に伴う配分基金の活用方法は。

**A** 交通・防犯を含めた事業、駐在所対策などの財源として考えたい。

**Q** 河川監視の防災遠視カメラは、常時監視か。その運用基準は策定されているか。

**A** 常時監視であるが、防災の必要時に画面表示を行うこととしている。

運用マニュアルはプライバシー問題にも留意して、稼働時までに策定する。

・5月18日協議会開催

**Q** 国道23号岡崎バイパスはいつ開通するか。

**A** 平成19年3月の暫定供用開始をめぐっている。(安城・芦谷間14・5km)

**Q** バイパスのインターチェンジ名は。

**A** 町内3カ所は、幸田須美、幸田桐山、幸田芦谷を最終案として検討中である。

**Q** 道の駅の完成予定とその内容は。

**A** 平成20年3月をめざしている。全体面積は約2.8ha。駐車場(74台)、道路情報、無料休憩所、公衆便所、地域振興の各



工事が進む幸田芦谷IC付近

施設である。

**Q** 大井池防災ダム事業で生平幸田線は通行止めとなるか。

**A** 詳細プログラムを作りできるだけ短期間としたい。重要路線であるから、路線の変更も考慮して検討する。

**Q** 農地・水・環境保全向上対策事業は、18年度、久保田地区をモデルに、19年度から全町的に展開していくとのことであるが大丈夫か。

**A** 組織づくりは各区長・土地改良区理事・生産班長等の協力をえて、簡単なシステムで行う。

文教福祉

児童手当  
小学校6年生まで拡大

・5月16日協議会開催

児童手当制度の改正

Q 小学校6年生までの年齢拡大と、所得制限緩和で新たに受給できる人数は。

A あわせて1161人程度と見込んでいる。約9割の児童が受給できる。申請されないと受給できない。対象者への周知方法は。

A 対象者は全て個人通知で行う。広報・ホームページにも掲載し、もれないよう努める。

自立支援給付および地域生活支援事業

Q 利用者負担が10%あるが、負担の上限額は決まっているか。上限額をオーバーした分はどうするか。

A 所得に応じて負担の



元気に学ぶ児童たち

限度額は設けられている。オーバーした分は、制度上の自立支援給付がある。

Q 18年度予算が不足することはあるか。

A 予算編成時は、制度が確定していなかったため概算で計上している。10月から本施行となるので、精査し9月議会で補正を行う予定。

一般質問

その後

追跡

あの答弁はどうなったの!



増えつづける可燃ゴミ

その後 afterward ← an Answer question

民間事業者によるバイオガス発電の取組事例

事業のメリットは大きい。技術革新など調査・研究に取り組む。

増え続ける家庭系可燃ゴミの対策にバイオマス事業の検討を。

平成16年9月定例会  
杉浦 務 議員

もあるが、多大な経費を必要とすることから、全般的に消極対応の状況となっている。

最近、ゴミを炭化処理するという方法も採用されており、バイオガス方式を含めて、民間主体による事業化などの情報収集に努めている。